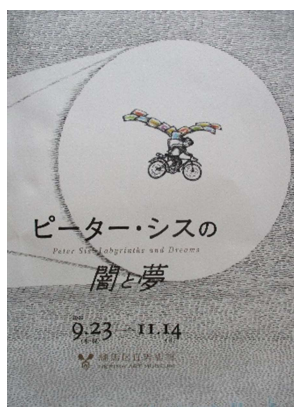


## ピーター・シスの闇と夢

東京都練馬区立美術館(中村橋) 2021.09.23~11.14



「ピーター・シス」(Peter Sis) (1949~) は、旧チェコスロバキア(現チェコ共和国)生まれで、プラハの美術工芸学校、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで学び、1982年にはアメリカに移住して、以来、新聞、雑誌、書籍の他にアニメーション映画の分野で幅広く活躍している「現代絵本作家」である。

彼は、1987年からこれまで30作以上の絵本を生み出し、挿絵のみを担当した作品を含めると、日本でも数多くの作品が翻訳されて出版されている。



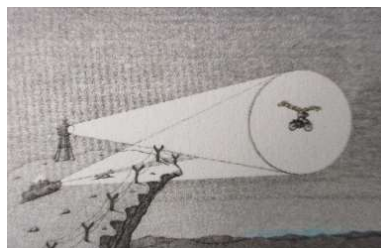
《三つの金の鍵 魔法のプラハ 原画》 1994年 (左)

画伯自らの少年時代の思い出やプラハの歴史を辿り、美しくも悲しみを帯びた古都の「プラハ」を描いた作品である。



《星の使者 ガリレオ・ガリレイ 原画》 1996年 (右)

高名な科学者、数学者、天文学者、哲学者である「ガリレイ」の生涯を読み解き、アメリカの優れた絵本「コールデコット賞」の推薦を受けた作品。



《かべ 鉄のカーテンのむこうに育って 原画》 2007年 (左)

日記に基づく自伝的絵本を発表し、チェコ出身の絵本作家として世界的な評価を確立した作品であるとされている。



《飛行士と星の王子さま サン＝デグジュベリの生涯 原画》 2014年 (右)

飛行機の上から地上の人々の暮らしをみつめ、思索を深めた世界中でいまでも愛され続けている童話で、美しく繊細な筆致で細部まで描き上げた作品。